

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入ってい れば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
5	56-38-2	パラチオン	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	OVS-2(石英フィルター、XAD-2:270 mg/140 mg) 0.2~1 L/min 12~1200 min	脱着溶媒:90%トルエン/10%アセトン の混合溶液(内部標準物質;リン酸トリ フェニル、場合によって添加する)	ガスクロマトグラフ-炎光度検出器 (GC/FPD)	
6	57-74-9	1,2,4,5,6,7,8,8-オクタクロロ-2,3,3a,4, 7,7a-ヘキサヒドロ-4,7-メタノ-1H-インデン (別名:クロルデン)	○	○	○	△	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	OVS-2捕集管(石英フィルター+XAD- 2(270 mg/140 mg)) 1.0 L/min 480 min	溶媒抽出/脱着:トルエン	ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器 (GC-ECD)	・OVS-2 サンプラーは1.0 L/minの流量で、蒸気とエア ロゾルの捕集ができると考えられる。低流量での粒子捕 集は十分でない場合がある。 ・脱着溶媒は0~4°Cの保管で30日未満で使用する。
12	72-20-8	1,2,3,4,10,10-ヘキサクロロ-6,7-エポキシ- 1,4,4a,5,6,7,8,8a-オクタヒドロ-エンド-1,4-エ ンド-5,8-ジメタノナフタレン(別名:エンドリ ン)	○	○	ND	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	セルロースエステルメンブランフィル ター+Chromosorb 102(100 mg/50 mg) 0.5~1 L/min 24~800 min (0.5 L/minの時), 12~400 min (1 L/minの時)	溶媒抽出/脱着:トルエン	ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器 (GC-ECD)	インハラブル粒子の値として正確に評価するには、IOM サンプラー又はIFVサンプラーを用いる必要がある。
13	72-43-5	1,1-トリクロロ-2,2-ビス(4-メトキシフェ ニル)エタン(別名:メキシクロル)	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	OVS-2(ガラスファイバーフィルター、 XAD-2:270 mg/140 mg) 1 L/min 60 min	脱着溶媒:アセトニトリル	ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器 (GC/ECD)	・低濃度での検証データがないので、使用時には各自検 証が必要である ・サンプリング時の干渉については不明である。
18	75-25-2	トリプロモメタン	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 20~7000 min	脱着溶媒:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	
20	75-34-3	1,1-ジクロロエタン	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 2.5~1500 min	脱着溶媒:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	
21	75-43-4	ジクロロフルオロメタン	○	○	○	○	△	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(400 mg/200 mg) 0.01~0.05 L/min 5~300 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすく3L程度の捕集しかできないため、必ず後段 の試料を分けて測定する。感度向上には、ECDを使用す る。
22	75-45-6	クロロジフルオロメタン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(400 mg/200 mg)とヤシ 殻活性炭管(100 mg/50 mg)を連結する 0.01~0.05 L/min 20~400 min	溶媒脱着:ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので、捕集管を直列に二つ接続して使用す る。感度向上には、ECDを使用する。
23	75-50-3	トリメチルアミン	○	○	ND	ND	○	○	固体(反応)捕集-ガスクロマトグラフ 分析方法	リン酸含浸 XAD-7(80 mg/40 mg) 0.1 L/min 100 min	溶媒脱着:メタノール/水(1/1)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入ってい れば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
24	75-63-8	ブロモ(トリフルオロ)メタン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(400 mg/200 mg)とヤシ 殻活性炭管(100 mg/50 mg)を連結する 0.01~0.05 L/min 10~100 min(0.01 L/minの時),2~20 min(0.05 L/minの時)	溶媒抽出:ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので、捕集管を直列に二つ接続して使用す る。感度向上には、ECDを使用する。
25	75-65-0	tert-ブタノール	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 50 min	溶媒脱着:二酸化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FIDまたはMS)	バックドカラムと水素炎イオン化検出器を用いたGC法が 用いられている。キャピラリーカラム-GC/MSの分析方 法について、検証結果を基に評価した。
26	75-71-8	ジクロロジフルオロメタン	○	ND	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(400 mg/200 mg)とヤシ 殻活性炭管(100 mg/50 mg)を連結する 0.01~0.05 L/min 100~400 min(0.01 L/minの時),20~80 min(0.05 L/minの時)	溶媒脱着:ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので、捕集管を直列に二つ接続して使用す る。感度向上には、ECDを使用する。
27	76-12-0	テトラクロロジフルオロエタン(別名:CFC- 112)	△	ND	ND	○	△	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.035 L/min 14~200 min	溶媒脱着:二酸化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので流速が遅く、短時間捕集である。感度 の確認をすること
28	76-13-1	1,1,2-トリクロロ-1,2,2-トリフルオロエタン(別 名:トリクロロトリフルオロエタン・CFC-113)	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Anasorb CMS(150 mg/75mg) 50 mL/min 20 min	溶媒脱着:二酸化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので流速が遅く、短時間捕集である。感度 の確認をすること
29	76-14-2	ジクロロテトラフルオロエタン(別名:CFC- 114)	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(400 mg/200 mg)とヤシ 殻活性炭管(100 mg/50 mg)を連結する 0.01~0.05 L/min 100~400 min(0.01 L/minの時),20~80 min(0.05 L/minの時)	溶媒脱着:ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	破過しやすいので流速が遅く、捕集管を2段連結で使用 する。 感度の確認をすること
33	77-73-6	ジシクロペンタジエン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Chromosorb 106(300 mg) 5 mL/min 30 min	加熱脱着	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	加熱脱着法が用いられているが、溶媒脱着法を用いた分 析方法について検証結果を示す。
38	79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン	○	○	○	ND	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 10~6000 min	脱着溶媒:二酸化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	
39	79-09-4	プロピオン酸	○	○	○	△	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	シリカゲル捕集管(520 mg/260 mg) 0.2 L/min 90 min	脱着溶媒:アセトン:水(50:50)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	・本法OSHA No.PV2293の付録Aには、イオンクロマ トグラフィー分析結果も記載されている。

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれば○、不明確ならば△、データなしならばND	抽出/脱着率または添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過の可能性なし △はOELの2倍で破過の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
42	79-24-3	ニトロエタン	○	○	○	△	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	XAD-2 捕集管(600 mg/300 mg) 0.01~0.05 L/min 30~300 min	脱着溶媒: 酢酸エチル	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・サンプリング後、直ちに吸着剤の前層と後層を分ける必要がある。 ・破過しやすいので捕集流速に注意が必要であり、感度について要確認。
44	84-66-2	フタル酸ジエチル	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Tenax -TA-OVS(ガラス繊維フィルター、 Tenax TA: 70 mg/140 mg) 1.0 L/min 240 min	脱着溶媒: トルエン(内部標準物質; 1-フェニルドデカン)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
45	84-74-2	フタル酸ジ-n-ブチル	○	○	○	△	○	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Tenax -TA-OVS(ガラス繊維フィルター、 Tenax TA: 70 mg/140 mg) 1.0 L/min 240 min	脱着溶媒: トルエン(内部標準物質; 1-フェニルドデカン)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
47	86-50-0	ジチオリン酸O, O-ジメチル-S-[[4-オキソ-1, 2, 3-ペンゾトリアジン-3(4H)-イル]メチル] (別名: アジンホスメチル)	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	OVS-2 捕集管(石英フィルター+XAD-2 (270 mg/140 mg)) 0.2~1.0 L/min 60~480 min	溶媒抽出/脱着: トルエン/アセトン (90/10)	ガスクロマトグラフ-炎光光度検出器(GC-FPD, 525 nmまたはMS)	・IFVの値として正確に評価するには、IFVサンプラーを用いる必要がある。 ・参考にした方法では、炎光光度検出器を用いていたが、質量分析計(MS)を検出器に用いた分析方法について検証した評価結果を記載した。
48	87-68-3	六塩化ビジエン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	XAD-2 捕集管(150 mg/75 mg) 0.05~0.2 L/min 5~20000 min	脱着溶媒: ヘキサン	ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器(GC/ECD)	・高湿度では捕集率が低下する可能性がある。 ・クロロホルムを含むサンプルは干渉する可能性がある。
49	88-12-0	N-ビニル-2-ピロリドン	△	○	○	ND	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	活性炭管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 50 min	脱着溶媒: ジクロロメタン/メタノール 95/5(v/v)(内部標準物質; n-ヘキサノール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・低濃度領域の分析範囲が示されていない。 ・長時間測定での破過についての情報が無いため、後段の捕集剤を分けて分析する。
53	100-61-8	N-メチルアニリン	○	○	△	ND	○	○	液体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ミゼットバブラー(硫酸溶液) 0.2~1.0 L/min 11~500 min	0.05 M 硫酸で体積を10 mLにし、水酸化カリウムを添加する(pH 10以上)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・サンプリングは液体捕集方法のため、作業者の安全に留意して捕集する必要がある。 ・遊離塩基としてのアミンの損失を防ぐため試料は直ちに分析する必要がある。 ・FIDの代わりに化学発光窒素検出器(NCD)を用いると、感度が大幅に向上する。
54	101-84-8	ジフェニルエーテル	△	○	○	△	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	XAD-7 捕集管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 100 min	脱着溶媒: 二酸化炭素(内部標準物質; p-シメン)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	定量下限について確認してから測定する
55	102-71-6	トリエタノールアミン	○	○	ND	○	○	○	ろ過捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	グラスファイバーフィルター(φ37 mm、 2ピース・フィルターカセット) 1 L/min 100 min	脱着溶媒: アセトン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入ってい れば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
57	106-35-4	ノルマル-ブチルエチルケトン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2L/min 5~2500 min	脱着溶媒: 1%メタノール入り二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
60	107-18-6	アリルアルコール	△	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	活性炭管(100 mg/ 50 mg) 0.05 L/min 200 min	脱着溶媒: ジクロロメタン:メタノール (95:5)(内部標準物質; 2-エチル-1-ヘキサノール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
61	107-19-7	2-プロピニ-1-オール	○	○	△	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	臭化水素酸処理済 Anasorb 747 捕集管 (100 mg/50 mg) 0.05 L/min 120 min	脱着溶媒: トルエン(内標準物質を含まない)	ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器(GC/ECD)	
62	107-31-3	ギ酸メチル	○	○	△	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Anasorb 747(400 mg/200 mg) 0.05 L/min 60 min	溶媒脱着: メタノール/ジメチルホルムアミド溶液(90/10)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
63	107-41-5	2-メチル-2,4-ペンタンジオール(別名:ヘキシレングリコール)	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 15 min	溶媒脱着: ジクロロメタン/メタノール (95/5)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
64	107-49-3	テトラエチルピロホスフェイト(別名:TEPP)	ND	ND	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Chromosorb 102 捕集管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 100~4800 min	脱着溶媒: トルエン	ガスクロマトグラフ-炎光光度検出器(GC/FPD)	・粒子状物質の捕集について要確認 ・濃度基準値(参考)の1/10~2倍範囲のデータが示されていないため、測定するには確認が必要である。 ・FPDを他の検出器に置き換える場合は検証が必要である。
66	107-98-2	プロピレングリコールモノメチルエーテル	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	活性炭管(100 mg/50 mg) 0.1 L/min 100 min	溶媒脱着: ジクロロメタン/メタノール (95/5)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
67	108-03-2	1-ニトロプロパン	△	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	XAD-4 捕集管(80 mg/40 mg) 0.1 L/min 40 min	脱着溶媒: 二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
68	108-11-2	4-メチル-2-ペンタノール	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 5~1000 min	溶媒脱着: 二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれば○、不明確ならば△、データなしならばND	抽出/脱着率または添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過の可能性なし △はOELの2倍で破過の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
69	108-20-3	イソプロピルエーテル	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.05 L/min 10~60 min	脱着溶媒:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
70	108-24-7	無水酢酸	△	ND	ND	○	△	○	ろ過(反応)捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ペタリルアミン及びフタル酸ジ-n-オクチル含浸ガラス繊維フィルター 0.5 L/min 又は 0.05 L/min 15 min(0.5 L/minの時),150 min(0.05 L/minの時)	溶媒抽出:2-プロパノール/トルエン(50/50)	ガスクロマトグラフ-窒素リン検出器(GC-NPD)	・8時間値を測定する際は捕集流速を0.05 mL/min、短時間値は0.5 L/minとする。 (※)濃度基準値の検討結果を踏まえ、上記記載は修正する可能性があるもの。 ・捕集剤は1ヶ月程度が消費期限である。
73	108-87-2	メチルシクロヘキサン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 20~400 min	脱着溶媒:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
74	109-66-0	n-ペンタン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 50 mL/min 45 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
76	109-87-5	メチラール	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 5~300 min	脱着溶媒:ヘキサン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
78	110-12-3	5-メチル-2-ヘキサノン	○	○	ND	ND	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 50 min	溶媒脱着:二硫化炭素/ジメチルホルムアミド(99/1)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
80	110-82-7	シクロヘキサン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 50 mL/min 190 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	
81	111-44-4	ビス(2-クロロエチル)エーテル	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~1 L/min 2~1500 min	脱着溶媒:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
82	111-84-2	n-ノナン	○	○	○	△	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 50 mL/min 80 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれ ば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
83	112-07-2	エチレングリコールモノブチルエーテルアセ タート(別名:2-ブトキシエチルアセタート・ EGBEA)	△	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.1 L/min 480 min	脱着溶媒:ジクロロメタン/メタノール 95/5(v/v)(内部標準物質;2-エチル-1-ヘ キサノール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	・室温保存した場合、2-ブトキシエチルアセタートは2- ブトキシエタノールと酢酸に加水分解される。
84	112-34-5	ジエチレングリコールモノブチルエーテル (別名:2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール)	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	ガラス繊維フィルター+活性炭管 0.33 L/min 2時間	溶媒抽出/脱着:ジクロロメタン/メタ ノール(7/3)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	IFVの値として正確に評価するには、IFVサンブラーを用 いる必要がある。
88	121-69-7	NN-ジメチルアニリン	○	○	○	○	○	○	固体(反応)捕集-ガスクロマトグラフ 分析方法	10%リン酸コーティングXAD-7捕集管 (80 mg/40 mg) 0.2 L/min 150 min	脱着溶媒:メタノール(0.2N水酸化アン モニウム含有,内部標準物質;1-ヘキサノ ール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	
91	126-73-8	りん酸トリ-n-ブチル	○	○	ND	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-ガスクロマトグラ フ分析方法	ガラス繊維フィルターと Chromosorb 106を連結する 1.5 L/min 120 min	溶媒抽出/脱着:ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ-質量分析器(GC-MS)	・検証結果により評価 ・捕集後、速やかに測定する
93	141-32-2	アクリル酸ノルマル-ブチル	△	○	ND	ND	○	○	固体(反応)捕集-ガスクロマトグラフ 分析方法	4-tert-ブチルカテコール含浸活性炭管 (100 mg/50 mg) 0.05 L/min 240 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	・破過しやすいので、低速で捕集するため、感度につい て検証が必要である。 ・捕集後速やかに分析する。
94	141-79-7	酸化メシチル(別名:メシチルオキシド)	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 5~2500 min	脱着溶媒:二硫化炭素(内部標準物質;メ タノール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC/FID)	・捕集後、速やかに分析する
95	142-82-5	ノルマル-ヘプタン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Anasorb CSC(100 mg/50 mg) 50 mL/min 80 min	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	・捕集後、速やかに分析する
99	431-03-8	ジアセチル	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	シリカゲル管(600 mg)2本を連結する 0.2 L/min 又は 0.05 L/min 15 min (0.2 L/minの時),180 min (0.05 L/minの時)	溶媒脱着:エチルアルコール/水(95/5)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	・捕集後、速やかに分析する
100	540-88-5	酢酸ターシャリ-ブチル	○	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 100~1000 min(0.01 L/minの時),5~50 min(0.2 L/minの時)	溶媒脱着:二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出 器(GC-FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれ ば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
101	541-85-5	エチルセカンダリベンチルケトン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2L/min 5~2500 min	脱着溶媒: 1%メタノール入り二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・捕集後、速やかに分析する
104	626-38-0	酢酸sec-ベンチル	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.01~0.2 L/min 5 ~ 1000 min	脱着溶媒: 二硫化炭素(内部標準物質; ベンゼン、トリデカン、ドデカン、ウンデカン等)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・冷蔵保存し、捕集後速やかに分析する。
121	2104-64-5	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート(別名:EPN)	○	○	ND	○	○	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ガラス繊維フィルター 1~2 L/min 7.5~700 min	溶媒抽出: イソオクタン	ガスクロマトグラフ-炎光度検出器(GC-FPD)	・ろ過捕集であるため、蒸気状のEPNは捕集できない。 ・検出器をMSとして検討を行った結果により評価を記載した。
123	2179-59-1	アリルノルマルプロピルジスルフィド	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Chromosorb106(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 50 min	溶媒脱着: トリクロロエチレン	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	・キャピラリーカラム-GC/MSの分析方法について、検討した結果により評価している。 ・捕集後速やかに分析する。
124	2551-62-4	六フッ化硫黄	△	ND	ND	備考参照	○	○	直接捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	テドラーバッグ 0.02~1.0 L/min 0.8~800 min	—	携帯型ガスクロマトグラフ-電子捕獲型検出器(GC/ECD)	・サンプラーはテドラーバックのため、操作性に欠ける。 ・サンプリング後、28時間までは変化がない事が確認されている。(テドラーバックの性能や、遮光の必要性等によって保存期間は変わる。)
142	7786-34-7	りん酸ジメチル=1-メトキシカルボニル-1-プロペン-2-イル(別名:メピンホス)	△	○	○	○	△	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	OVS-2(石英フィルター、XAD-2: 270 mg/140 mg) 0.2~1 L/min 12~1200 min	脱着溶媒: 90%トルエン/10%アセトンの混合溶液(内部標準物質: リン酸トリフェニル、場合によって添加する)	ガスクロマトグラフ-炎光度検出器(GC/FPD)	・OVS-2 サンプラーは 1.0 L/min の流量で、蒸気とエアロゾル粒子の捕捉ができると考えられている。低流量ではエアロゾル粒子の捕捉が十分でない場合がある。 ・脱着溶媒は0~4°Cの保管で 30 日以上保管する事は出来ない。 ・FPDは一般的でない
143	8008-20-6	灯油	○	○	○	△	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.1 L/min 200 min	脱着溶媒: 二硫化炭素: N,N-ジメチルホルムアミド(99: 1)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・標準物質について検討が必要。
150	13838-16-9	2-クロロ-1,1,2-トリフルオロエチルジフルオロメチルエーテル(別名:エンフルラン)	○	○	○	○	○	○	固体(反応) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	水酸化カリウム含有 Anasorb 747 捕集管(140/70 mg) 0.05 L/min 15~240 min	脱着溶媒: 二硫化炭素(内部標準物質: n-デカン)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	・他に使用可能な捕集管は、Anasorb csc(100 mg/50 mg)である。 ・捕集流速が遅いため、感度には注意が必要である。
152	25551-13-7	トリメチルベンゼン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	Anasorb CSC sorbent(100 mg/50 mg) 50 mL/min 240 min	溶媒脱着: 二硫化炭素	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれば○、不明確ならば△、データなしならばND	抽出/脱着率または添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過の可能性なし △はOELの2倍で破過の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
153	34590-94-8	ジブロピレングリコールメチルエーテル	△	○	○	○	○	○	固体捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.1 L/min 100 min	脱着溶媒:ジクロロメタン:メタノール (95:5)(内部標準物質:3-オクタノール)	ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC/FID)	
8	61-82-5	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール(別名:アミトロール)	○	○	90%以上の条件があるとされているが条件が不明。	ND	△	○	液体捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	バブラー(15mL 超純水) 1.0 L/min 60 min	15 mLの水で通気後、水で洗い込む	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC/UV)	・サンプリングは液体捕集方法のため、作業者の安全に留意する必要がある。 ・高速液体クロマトグラフ分析の溶離液を変更した検証結果を評価として記載した。 ・保存安定性の情報が不明のため、できるだけ速やかに分析する。
9	64-18-6	ギ酸	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	PTFEメンブランフィルター(孔径5 μm)と、活性シリカゲル捕集管(400 mg/200 mg) 0.05~0.2 L/min 5~480 min	脱着溶媒:イオン交換水	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC)	・活性シリカゲル捕集管の他に、洗浄済みシリカゲル捕集管も使用可能である(シリカゲルに不純物が見られなくなるまで洗浄を繰り返す必要がある)。
10	64-19-7	酢酸	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	ヤシ殻活性炭管(100 mg/50 mg) 0.2 L/min 240 min	脱着溶媒:0.01N水酸化ナトリウム	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC)	・保存安定性の情報が不明のため、できるだけ速やかに分析する。
14	74-89-5	メチルアミン	ND	○	○	○	○	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	NBD-Cl含浸 XAD-7(80 mg/40 mg) 0.2 L/min 50 min	溶媒脱着:テトラヒドロフラン(50 mg/mL NBD-Cl含有)	高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(HPLC-FL)	・高速液体クロマトグラフ分析の溶離液を逆相に変更した検証結果を評価として記載した。
16	75-04-7	エチルアミン	ND	○	○	○	○	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	NBD-Cl含浸 XAD-7(80 mg/40 mg) 0.2 L/min 50 min	溶媒脱着:テトラヒドロフラン(50 mg/mL NBD-Cl含有)	高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(HPLC-FL)	・高速液体クロマトグラフ分析の溶離液を逆相に変更した検証結果を評価として記載した。
19	75-31-0	イソプロピルアミン	○	○	ND	○	○	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	1-ナフチルイソチオシアネート含浸 XAD-2(40 mg/80 mg) 0.1 L/min 200 min	溶媒脱着:N,N-ジメチルホルムアミド	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC-UV)	
40	79-10-7	アクリル酸	△	○	○	△	○	○	固体捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	Anasorb 708 捕集管(100 mg)を直列に2本接続する 0.1 L/min 240 min	脱着溶媒:メタノール	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC/UV)	
41	79-11-8	クロロ酢酸(別名:モノクロロ酢酸)	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	シリカゲル捕集管(100 mg/50 mg) 0.05~0.2 L/min 5~2000 min	脱着溶媒:イオン交換水	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC)	・蒸気とエアロゾル粒子が同時に存在する場合は、両者を捕集するため、フィルターによる検討が必要である。 ・クロロアセチルクロリドおよび酸の粒子状物質は正の干渉物質となる。

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入ってい れば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
50	93-76-5	2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸	○	○	○	ND	○	○	ろ過捕集-高速液体クロマトグラフ分析 方法	グラスファイバーフィルター(φ37 mm、 バインダーレス) 1~3 L/min 5~200 min	脱着溶媒:メタノール	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出 器(HPLC/UV)	
51	94-36-0	ジベンゾイルベルオキシド	○	○	○	ND	○	○	ろ過捕集-高速液体クロマトグラフ分析 方法	セルロースエステルメンブレンフィル ター(φ37mm, ポアサイズ 0.8μm バック アップパッド付) 1.0~3.0 L/min 13.4~400 min	脱着溶媒:エチルエーテル	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出 器(HPLC/UV)	・フィルターへの粒子状物質の捕集は2mgを超えないこ と。理由の記載なし。 ・保存試験は常温のデータであるが、冷蔵保存が好まし い。
52	100-01- 6	p-ニトロアニリン	△	○	○	ND	○	○	ろ過捕集-高速液体クロマトグラフ分析 方法	混合セルロースエステル(MCE)メンブレ ンフィルター(φ37mm、バックアップ パッド付、2ピースカセット) 1.0~3.0 L/min 5.3~350 min	脱着溶媒:イソプロパノール	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出 器(HPLC/UV)	・本法は、エアロゾル粒子の捕捉に適しており、蒸気の 捕捉には不向きである。
56	104-94- 9	p-アニシジン	○	○	ND	○	○	○	固体捕集-高速液体クロマトグラフ分析 方法	XAD-2 捕集管(150 mg/75 mg) 0.5~1.0 L/min 24~640 min	脱着溶媒:メタノール	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出 器(HPLC/UV)	
58	106-50- 3	p-フェニレンジアミン	○	○	○	ND	○	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグ ラフ分析方法	硫酸含浸ガラス繊維フィルター 1 L/min 100 min	溶媒抽出: EDTA 溶液	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度 検出器(HPLC-UV)	インハラブルの値として正確に評価するには、IOMサン プラー又はIFVサンプラーを用いる必要がある。
59	107-15- 3	エチレンジアミン	○	○	○	○	○	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグ ラフ分析方法	1-ナフチルイソチオシアネート含浸 XAD-2(80 mg/40 mg) 0.1 L/min 100 min	溶媒抽出:ジメチルホルムアミド	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検 出器(HPLC-UV)	
71	108-31- 6	無水マレイン酸	△	ND	ND	○	△	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグ ラフ分析方法	ベラトリルアミン含浸ガラス繊維フィル ター 0.5 L/min 120 min	溶媒抽出:アセトニトリル/ジメチルスル ホキシド(90/10)	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検 出器(HPLC-UV)	IFVの値として正確に評価するには、IFVサンプラーを 用いる必要がある。
72	108-45- 2	m-フェニレンジアミン	○	○	○	ND	○	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグ ラフ分析方法	硫酸含浸ガラス繊維フィルター 1 L/min 100 min	溶媒抽出: EDTA 溶液	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検 出器(HPLC-UV)	
85	114-26- 1	N-メチルカルバミン酸2-イソプロポキシフェ ニル(別名:プロボキスル)	○	○	○	○	○	○	(ろ過+固体)捕集-高速液体クロマト グラフ分析方法	OVS-2 捕集管(石英フィルター+XAD- 2(270 mg/140 mg)) 0.1~1.0 L/min 600~4800 min(0.1 L/minの時),60~480 min(1 L/minの時)	溶媒抽出/脱着: 0.1M TEA-PO4 含有 (0.2%)アセトニトリル溶液	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検 出器(HPLC-UV)	IFVの値として正確に評価するには、IFVサンプラーを 用いる必要がある。

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれば○、不明確ならば△、データなしならばND	抽出/脱着率または添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過の可能性なし △はOELの2倍で破過の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
92	137-05-3	2-シアノアクリル酸メチル	○	ND	ND	○	○	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	リン酸浸 XAD-7(80 mg/40 mg) 0.1 L/min 120 min	溶媒脱着: 0.2%リン酸アセトニトリル溶液	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC-UV)	
102	552-30-7	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	△	ND	ND	○	△	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	ペラトリルアミン及びフタル酸ジ-n-オクチル含浸ガラス繊維フィルター 2.0 L/min 240 min	溶媒抽出: 0.02 N 水酸化アンモニウム溶液	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC-UV)	IFVの値として正確に評価するには、IFVサンプラーを用いる必要がある。
103	624-83-9	イソシアナ酸メチル	ND	○	ND	○	△	○	固体(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	XAD-7 捕集管 事前に(0.3 mg の 1-(2-ピリジル)ピペラジン(1-2PP)でコーティング)を添加する事 0.05 L/min 300 min	脱着溶媒: アセトニトリル	高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(または UV 検出器)	・1-2PPでコーティングされたXAD-7チューブは市販されていないため、事前に作製する必要がある。 ・コーティングされたXAD-7チューブは、要冷蔵保存である。 ・定量的に捕集するため、流量0.05 L/minでのサンプリングを保つ必要があるため、感度については検討が必要である。
108	822-06-0	ヘキサメチレン=ジイソシアネート(別名:ヘキサン-1,6-ジイソシアネート)	△	○	○	○	○	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	1-(2-ピリジル)ピペラジン含浸ガラス繊維フィルター 1 L/min 15 min	脱着溶媒: アセトニトリル/ジメチルスルホキシド(90:10)	高速液体クロマトグラフ-紫外吸光度検出器(HPLC/UV)もしくは、超高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(UHPLC/FL)	イソシアネートの国の公定法だが、捕集用試薬が要冷凍であり、保存期間が短い。
125	4098-71-9	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート	○	○	○	△	○	○	ろ過(反応)捕集-高速液体クロマトグラフ分析方法	1-(2-ピリジル)ピペラジン含浸ガラス繊維フィルター 1 L/min 15 min	溶媒抽出: アセトニトリル/ジメチルスルホキシド(90/10)	高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(HPLC-FL)	イソシアネートの国の公定法だが、捕集用試薬が要冷凍であり、保存期間が短い。
135	7664-38-2	りん酸	○	○	○	○	○	○	ろ過捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	φ37 mm の石英繊維フィルター、または PTFE フィルター(孔径 0.45 μm) 1~5 L/min 3~2000 min	脱着溶媒: 0.0027M 炭酸ナトリウム/0.0003M 炭酸水素ナトリウム	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC)	検証結果を基に測定法を評価した。
144	10028-15-6	オゾン	○	○	○	○	○	○	ろ過(反応)捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	亜硝酸塩含浸ガラスフィルター(φ37 mm、3ピースカセット) TWA: 0.25~0.5 L/min、STEL: 1.5 L/min 15~480 min	脱着溶媒: 脱イオン水	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC/UV)	・サンプリング空気にSO2がある場合は、酸化剤チューブをカセットの前段に付ける必要がある。 ・オゾンは亜硝酸塩含浸ガラスファイバーフィルターに捕集された後、亜硝酸塩(NO2)を硝酸塩(NO3)に酸化する。得られたNO3はICにて分析し、重量変換係数を用いてO3量を求める。 ・SO2ガスと可溶性粒子状硝酸塩化合物が共存する場合は、それぞれ干渉する。 ・強力な酸化剤であるペルオキシアセチル硝酸塩、正または負の干渉を引き起こす可能性のある他の酸化、還元化合物が、オゾンと共存する場合は注意が必要である。
146	10102-43-9	一酸化窒素	○	ND	ND	○	P	○	固体(反応)捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	トリエタノールアミン含浸モレキュラーシーブ管(400 mg),反応管(酸化剤含有),トリエタノールアミン含浸モレキュラーシーブ管(400 mg)の順の連結する 0.025 L/min 240 min	溶媒脱着: 1.5%トリエタノールアミン溶液	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC-CD)	
147	10102-44-0	二酸化窒素	△	ND	ND	○	P	○	固体(反応)捕集-イオンクロマトグラフ分析方法	トリエタノールアミン含浸モレキュラーシーブ管(400 mg/200 mg) 0.20 L/min 15 min	溶媒抽出: 1.5%トリエタノールアミン溶液	イオンクロマトグラフ-電気伝導度検出器(IC-CD)	

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入っていれば○、不明確ならば△、データなしならばND	抽出/脱着率または添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過の可能性なし △はOELの2倍で破過の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
105	639-58-7	塩化トリフェニルスズ	○	○	○	ND	○	○	ろ過捕集-高速液体クロマトグラフ分析及びICP/発光分光分析方法	PVC フィルター(φ37 mm, ポアサイズ 5 μm) 1~4 L/min 25 min~2000 min	脱着溶媒: トロポロン、水、メタノール混合溶液	高速液体クロマトグラフ/誘導結合プラズマ発光分光分析装置(HPLC-UV/ICP-AES)	
111	1118-46-3	ブチルトリクロロスズ	○	○	△	○	○	○	(ろ過+固体) 捕集-ガスクロマトグラフ分析方法	OVS-2(グラスファイバーフィルター、XAD-2: 270mg/140mg) 0.25~0.5 L/min 90~1440 min	(氷酢酸/アセトニトリル)溶液で抽出後、誘導体化試薬を添加し再度抽出する。	ガスクロマトグラフ-炎光度検出器(GC/FPD)	
112	1305-62-0	水酸化カルシウム	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-原子吸光分光分析方法	セルロースエステルメンブランフィルター(0.8 μm、φ37mm) 1~3 L/min 7~400 min	硝酸、過塩素酸で加熱分解後、塩酸を加える	原子吸光分析装置(AAS)	・本法はカルシウムを測定するものであり、分析では他のカルシウム化合物と区別できない。そのため、測定現場に複数のカルシウム化合物がある場合高い評価となる。 ・NIOSH Manual of Analytical Methods No.7300の前処理方法でも分析可能である。 ・Na、K、Li、Mg 等の干渉がある場合、Csを添加することで、火災中のイオン化を抑制することができる。
113	1305-78-8	生石灰(別名:酸化カルシウム)	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-原子吸光分光分析方法	セルロースエステルメンブランフィルター(0.8 μm、φ37mm) 1~3 L/min 7~400 min	硝酸、過塩素酸で加熱分解後、塩酸を加える	原子吸光分析装置(AAS)	・本法はカルシウムを測定するものであり、分析では他のカルシウム化合物と区別できない。そのため、測定現場に複数のカルシウム化合物がある場合高い評価となる。 ・NIOSH Manual of Analytical Methods No.7300の前処理方法でも分析可能である。 ・Na、K、Li、Mg 等の干渉がある場合、Csを添加することで、火災中のイオン化を抑制することができる。
114	1314-13-2	酸化亜鉛	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-X線回折分析方法	PVC メンブランフィルター φ25mm、0.8μm オープンフェイスカセット入り 1.0~3.0 L/min 3.3~133 min	—	X線回折装置(XRD)	・原子吸光による亜鉛の測定法でも可能であるが、酸化亜鉛の分別定量法である。 ・分析の際、重金属の元素が多く、酸化亜鉛が過小評価になる場合は吸収補正を行う。 ・別途、定性用サンプルは4000 L 必要であるが、捕集に際しては圧力損失が大きく注意が必要である。
115	1317-95-9	結晶質シリカ(別名:トリポリ)	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-X線回折分析方法	1mm ナイロン製サイクロン接続 PVC フィルター(φ3mm・ポアサイズ5 μm) 1.7 L/min 480 min	フィルターをテトラヒドロフランで溶解後、銀メンブランろ紙にろ過。35°Cホットプレートで乾燥。	X線回折分析装置(XRD)	・本分析法では、高出力のX線回折装置を用いる必要がある。 ・このメソッドは、石英とクリストパライトを対象としている。
116	1461-22-9	トリブチルスズクロリド	○	ND	ND	ND	△	○	(ろ過+固体) 捕集-高速液体クロマトグラフ分析及び黒鉛炉原子吸光分光分析方法	グラスファイバーフィルター+XAD-2 捕集管(80 mg/40 mg) 1~1.5 L/min 33.3~500 min	脱着溶媒: アセトニトリル(内標準物質; 酢酸)	高速液体クロマトグラフ/黒鉛炉原子吸光度計(HPLC/GFAAS)	・本法の回収率は濃度基準値(参考)の1/10~2倍の濃度範囲であるが、評価は精度、偏り、正確さで示されている。
117	1461-25-2	テトラブチルスズ	○	ND	ND	ND	△	○	(ろ過+固体) 捕集-高速液体クロマトグラフ分析及び黒鉛炉原子吸光分光分析方法	グラスファイバーフィルター+XAD-2 捕集管(80 mg/40 mg) 1~1.5 L/min 33.3~500 min	脱着溶媒: アセトニトリル(内標準物質; 酢酸)	高速液体クロマトグラフ/黒鉛炉原子吸光度計(HPLC/GFAAS)	・本法の回収率は濃度基準値(参考)の1/10~2倍の濃度範囲であるが、評価は精度、偏り、正確さで示されている。
126	7429-90-5	金属アルミニウム	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルロースエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm(酢酸セルロース製内部カプセルと共に2Pホルダーカセットに収納) 1.0~4.0 L/min 1~82 min	以下の文献に掲載されている試料調整方法の一つを選び、酸分解を行う。 NIOSH7300(湿式法; 硝酸: 過塩素酸=4: 1)、NIOSH 7301(湿式法; 王水)、NIOSH 7302(マイクロ波分解; 純水; 硝酸=1: 1)、NIOSH 7303(ホットブロック法; 塩酸: 硝酸)	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。 ・サンプラーカセットの中に内部カプセルを入れ、サンプラー壁の堆積物を考慮するための方法である。

No.	CAS RN	物質名称	測定範囲 OELの1/10及び2倍が 測定範囲に入ってい れば○、不明確ならば △、データなしならば ND	抽出/脱着率または添 加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含 む) △:要注意(備考参 照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P (○物質のみ 表示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
127	7440-06-4	白金	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルローズエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm 2Pカセット入り 1.0~4.0 L/min 312~2000 min	硝酸:超純水(1:1)添加し、加熱する。	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。
128	7440-22-4	銀	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルローズエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm 2Pカセット入り 1.0~4.0 L/min 62.5~2000 min	硝酸:超純水(1:1)を添加し加熱する	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。
130	7440-39-3	金属バリウム	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルローズエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm(酢酸セルローズ製内部カプセルと共に2Pホルダーカセットに収納) 1.0~4.0 L/min 1~2000 min ※推奨通気量は500 Lである(1~125 min)	・以下の文献に掲載されている試料調整方法の一つを選び、酸分解を行う。 NIOSH7300(湿式法; 硝酸:過塩素酸=4:1)、NIOSH 7301(湿式法; 王水)、NIOSH 7302(マイクロ波分解; 純水:硝酸=1:1)、NIOSH 7303(ホットブロック法; 塩酸:硝酸)	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。 ・サンブローカセットの中に内部カプセルを入れ、サンブロー壁の堆積物を考慮するための方法である。
132	7440-50-8	銅	○	○	ND	ND	○	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルローズエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm(酢酸セルローズ製内部カプセルと共に2Pホルダーカセットに収納) 1.0~4.0 L/min 1~2000 min ※推奨通気量は500 Lである(1~125 min)	・以下の文献に掲載されている試料調整方法の一つを選び、酸分解を行う。 NIOSH7300(湿式法; 硝酸:過塩素酸=4:1)、NIOSH 7301(湿式法; 王水)、NIOSH 7302(マイクロ波分解; 純水:硝酸=1:1)、NIOSH 7303(ホットブロック法; 塩酸:硝酸)	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。 ・サンブローカセットの中に内部カプセルを入れ、サンブロー壁の堆積物を考慮するための方法である。
136	7719-12-2	三塩化りん	△	○	ND	ND	△	○	液体捕集-紫外可視分光光度分析方法	バブラー(超純水) 0.05~0.2 L/min 55~2000 min	50mLのメスフラスコに水で洗いこむ	可視分光光度計	・サンプリングは液体捕集方法のため、作業者の安全に留意して捕集する必要がある。 ・器具洗浄時にりん酸洗剤を使用する場合、りんの残留に注意する事。 ・りん(V)化合物は干渉しない。 ・感度は実環境に合わせて検証する。
137	7782-49-2	セレン	○	○	ND	ND	△	○	ろ過捕集-ICP/発光分光分析方法	混合セルローズエステルメンブランフィルター(MCE)φ37mm、0.8μm(酢酸セルローズ製内部カプセルと共に2Pホルダーカセットに収納) 1.0~4.0 L/min 1~2000 min ※推奨通気量は500 Lである(1~125 min)	・以下の文献に掲載されている試料調整方法の一つを選び、酸分解を行う。 NIOSH7300(湿式法; 硝酸:過塩素酸=4:1)、NIOSH 7301(湿式法; 王水)、NIOSH 7302(マイクロ波分解; 純水:硝酸=1:1)、NIOSH 7303(ホットブロック法; 塩酸:硝酸)	誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)	・本法は、多元素メソッドである。通気条件、前処理条件は各元素で異なるため、確認が必要である。 ・サンブローカセットの中に内部カプセルを入れ、サンブロー壁の堆積物を考慮するための方法である。
151	25168-24-5	ジブチルスズビス(イソオクチル=チオグリコレート)	○	ND	ND	ND	△	○	(ろ過+固体) 捕集-液体クロマトグラフ分析及び黒鉛炉原子吸光分光分析方法	グラスファイバーフィルター+XAD-2 捕集管(80 mg/40 mg) 1~1.5 L/min 33.4~500 min	脱着溶媒:アセトニトリル(内標準物質; 酢酸)	高速液体クロマトグラフ/黒鉛炉原子吸光度計(HPLC/GFAAS)	・本法の回収率は濃度基準値(参考)の1/10~2倍の濃度範囲であるが、評価は精度、偏り、正確さで示されている。 ・サンプリング後の輸送、及び保管は0°Cを推奨する。